

各特別会計補正予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ6270万8千円を追加し、総額は5億5617万1千円となります。歳出の主なものは、一般被保険者療養給付費などです。



老人保健医療特別会計

歳入歳出それぞれ8574万9千円を減額し、総額は9億4673万4千円となります。歳出の主なものは、医療給付費等の減額です。



介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ2211万5千円を減額し、総額は4億3608万1千円となります。歳出の主なものは、施設介護サービス給付費の減額です。



資産税の滞納繰越分が計上されているのは、徴収係を1人配属した成果だと思われるが、どのような対策を講じたのか。税務課長 徴収対策について再検討を行い、新たに11項目からなる徴収計画を策定して取り組んだ。その内容は、他の係から応援をもらった。徴収先では何等かの

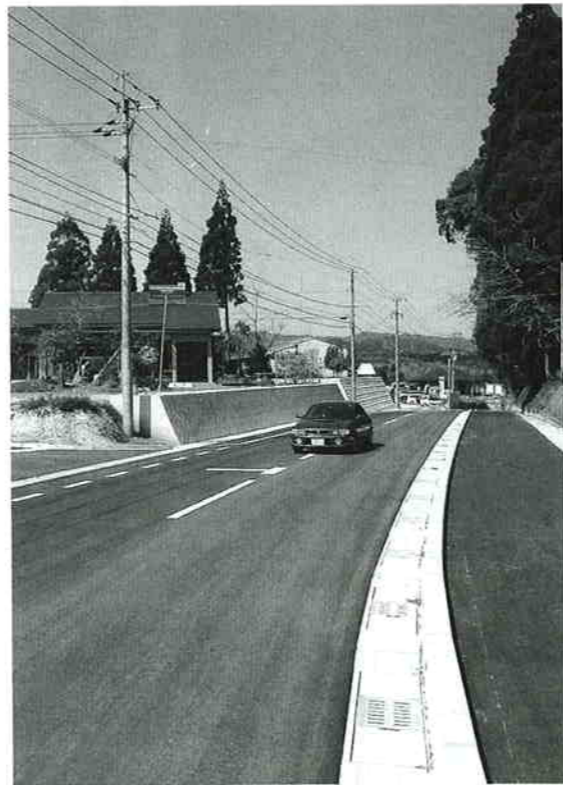
約束(分納誓約等)を取り付ける。口座振替制度の促進。徴収月間を5月、7月、12月に定めた。徴収対策会議を開き情報収集に努めた。徴収事務研修会の開催。電話催告月間を定めた。預金調査。資産調査。催告状の発送。それと、10月1日から徴収係を配置していただいたことで、徴収率の向上につながった。

約束(分納誓約等)を取り付ける。口座振替制度の促進。徴収月間を5月、7月、12月に定めた。徴収対策会議を開き情報収集に努めた。徴収事務研修会の開催。電話催告月間を定めた。預金調査。資産調査。催告状の発送。それと、10月1日から徴収係を配置していただいたことで、徴収率の向上につながった。

Q 入湯税の現年度分が10万円減額になっているが、今温泉ブームにより増えてくる傾向にあると考えるが、どのような理由で減額となったのか。 A 税務課長 一企業が若干落ち込んでいる状況であり、前年

Q 税金徴収の向上対策は。 A 個人町民税の滞納繰越分と、固定

Q 町民センターの検査の内容は。 A 町民センター管理費に、建築設備定期検査手数料が計上してあるが、どのような検査をされるのか。 A 住民課長 特殊建築物の検査で、通常毎年する検査ではなく、3年に1回実施するものです。検査は、一級建築士の方をお願いして行うものです。



県単道路整備事業で整備中の紫尾虎居線(柏原の京塚原地区)

15年度一般会計補正予算

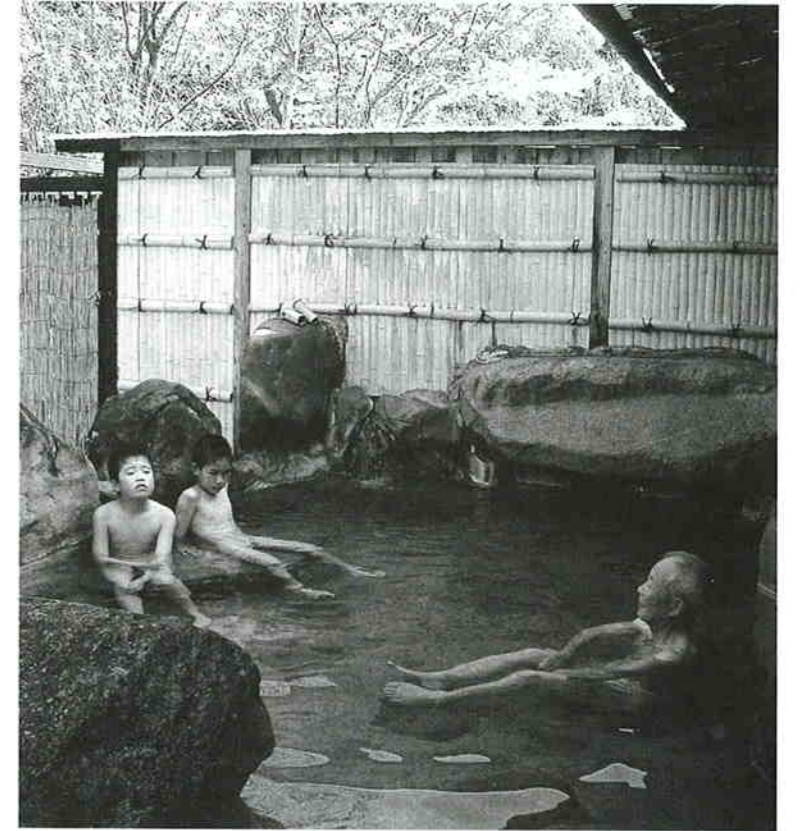
一般会計補正予算(第7号及び第8号)を審査した結果、原案のとおり可決しました。第7号補正は、歳入歳出それぞれ7012万2千円を追加、第8号補正はそれぞれ8174万9千円を減額し、予算の総額は32億527万5千円となりました。予算審議の内容は次のとおりです。

審議内容の概要

入湯税の減理由は、

入湯税の現年度分が10万円減額になっているが、今温泉ブームにより増えてくる傾向にあると考えるが、どのような理由で減額となったのか。

税金徴収の向上対策は、個人町民税の滞納繰越分と、固定



新幹線の一部開業で、今後の利用増が見込まれる温泉(紫尾温泉の露天風呂)

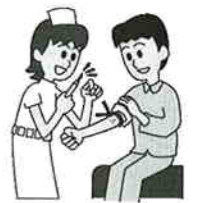
補正予算の主な内容

総務費



退職手当組合負担金 10,765千円
財政調整基金積立金 40,060千円

衛生費



国民健康保険基盤安定線出金 12,735千円

民生費



一時保育事業 1,025千円
老人保健医療特別会計繰出金 5,000千円

土木費



県単道路整備事業負担金(県道紫尾虎居線 京塚原工区) 1,350千円